

AR244

2023年7月～9月号

アジア レポート



Bangladesh 会堂建設プロジェクト

日本に派遣された宣教師

——ブラジル・アメリカから遣わされて

表紙写真： Bangladesh
撮影：吉田 隆

バングラデシュ会堂建設プロジェクト

吉田 隆

アジア・アウトリーチ・ジャパン 主事

日本の教会は何ができるか？

バングラデシュの貧しい村々、そこに会堂を建てる助けを日本からできないだろうか？ このプロジェクトの提案を前回のアジア・レポートでさせていただきました。

キリスト教未伝人口の比率（総人口に対するノンクリスチャンの数の比率）が世界一であるバングラデシュに対して、世界第二位である日本の教会が一体何をすることができるのでしょうか？ ここに福音化を最も必要としている二つの国があります。

経済的な状況を見ると、バングラデシュのこれらの村々は貧困と失業の問題を抱えています。村人には作物の収穫のある時期に畑や水田に出て働く、というような不安定な収入しか与えられていないのです。それに対し日本の教会も決してお金持ちだとは言えませんが、その水準は比べものにならないほど豊かです。



躍進するバングラデシュの教会

バングラデシュのこれらの地域に福音が宣べ伝えられ始めて8年から長いところは18年。例えばA村でイエス様を信じて救われた家族の数は68軒で教会の会員数は380人、一方ノンクリスチャンの数は700人。G村の場合イエス様を信じて救われた家族の数は80軒で、教会の会員数は470人、ノンクリスチャンの数は1000人です。神様の祝福によって、福音の宣教は大きく進んでいるのです。昨年（2022年）だけで、これらの地域に七つの新しい教会が設立されました。（会堂はありませんが……。）水のバプテスマを受けた人の数は703人でした。主が確かに働

いていらっしゃいます。

この会堂プロジェクト（一軒約280万円）は、ひとつの会堂に100人から150人が入って礼拝を捧げられるように30坪の大きさ、木製の扉、金属製の窓、鉄とセメントによる屋根という設計によって頑丈な建物を考えています。しかし現時点では、人々が会堂内で座る椅子のことは予算に含まれていません。

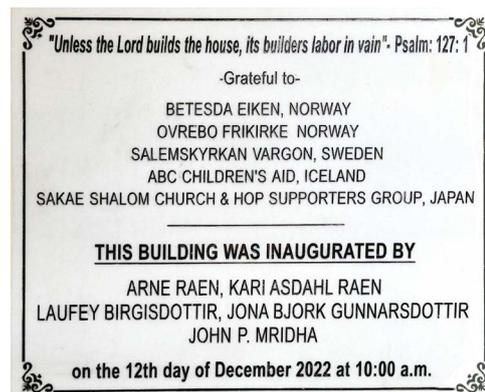
貧しい信徒たちは、子どもたちや家族が食べるための食料を買うだけでもいっぱいいっぱいです。けれども、建設に取りかかれば材料やレンガを運んだり、自分たちにできる奉仕を喜んでします。なんとかして建設費用の軽減を労働によって助け補うこととなります。精一杯の献金をしたとしても、全体の経費の5%ほどを捧げられるかどうかというところです。

バングラのクリスチャンができること

そしてもう一つこの地のクリスチャンたちができる大きな働きがあります。それは“祈り”です。今、彼らは日本のクリスチャンの中から、このプロジェクトに応答して下さる教会や個人が起こされるように祈っています。また、私はこのために献金をしてくださった方々の名前を送ります。彼らは、その名前を主の御座の前に挙げて祈ってくれるという約束をしてくれました。

特に50万円以上お捧げくださった方については、写真にあるように壁に印字されて、会堂に入る度ごとに名前が覚えられて執り成されます。祈りの力を体験していらっしゃる方は、これこそ日本の教会にとって、最も必要な助けであることをご存知でしょう。

私はこれが、未伝率第一位のバングラデシュの教会と第二位の日本の教会が“Win-Win”、すなわちお互いにす



チャレンジ！バングラデシュ会堂建設プロジェクト

バングラデシュに会堂を建設しよう

一つの会堂の建設費は 280 万円です。現地の教会の信徒は建設のために奉仕します。教会・教団・個人でまとまったご献金（50 万円以上の）をいただいた場合、会堂玄関に名前を刻んで現地の教会は名前を挙げてお祈りします。これは祈りによって神の国の相互関係を強めるプロジェクトです。詳しい資料をご希望の方は、aojoffice@gmail.com まで、バングラデシュ会堂建設プロジェクトについてお問い合わせください。

ばらしい祝福があり、双方にとって満足な関係を築け、神の国が前進するプロジェクトであると信じるのです。

すでにお捧げくださった方々に感謝をいたします。現在、日本の円の価値が安くなっています。またバングラデシュでは、ウクライナとロシアの戦争の影響で物価が著しく高騰しているそうです。こうしたことによって、尊い捧げ物の価値が減少することがないようにお祈りください。



AOジャパン

主からのチャレンジに応答しよう！

AOJ協議会議長 上田勇矢



AOJ のためのお祈り、支援をいつも感謝しております。AR 243 号と今回の 2 回にわたって吉田隆主事がバングラデシュ訪問記を報告しました。200 年前、近代宣教の先駆者ウィリアム・ケアリーが宣教を展開した地域は、現在に至ってイスラム教が非常に力強く、国が税金を用いて大モスクを 125 個建設する予定であり、世の終わりを感ずる人々がイスラム教に熱心になってきているということでした。

そのような中、インド国境にほど近い六つの村を訪問した吉田師は、そこで多くの村人がキリストを信じ、クリスチャンとして歩んでいるものの、壁や屋根がある教会堂という建物がない中で、広場での集会、礼拝をしていることが報告されました。炎天下で、雨季には雨が毎日のように降る中、六つの内五つの村に教会堂がない現実。それを見た吉田師を通して主は、ご自身のあわれみの心を示し、「バングラデシュ会堂建設プロジェクト」のチャレンジを与えられました。一つの会堂を建てるための必要額は 280 万

円。5 会堂で 1400 万円。

コロナ禍を経て、物価高、円安が進み、将来に不安を持つこの日本。活きたクリスチャン人口 0.2% と言われるこの国から何ができるだろうか！ 自分の生活でいっぱい…と不信仰になりそうな現実を目の前にしながら、しかし！ 主の熱心はこの日本の教会に、バングラデシュの、神の家族を支援するヴィジョンを与えられました。

このチャレンジが始まった後、一人の方が 100 万円の献金をもって応答してくださいました。大金だから素晴らしい…ではありません。主からのチャレンジに応答してくださったことがうれしいのです。感謝しつつ、これからさらに、AOJ を通して、皆さんのもつ良いものが、主の御栄光がバングラデシュでもあらわされるために用いられることを主に期待しています。

「神は喜んで与える人を愛してください。」

(Ⅱコリント 9：7)

日本に派遣された宣教師——第9回

ブラジル・アメリカから遣わされて

ファビオ・津嘉山さん



日本にリバイバルを送ろうとしていらっしゃる神様は、その証として、日本に対して新たな宣教師派遣の波を与えてくださっています。そのお証を通して、世界の国々から支えられていることを覚え、前進して行きましょう。今回はブラジル・アメリカ合衆国から来てくださったファビオ・津嘉山さんにお話を伺いました。

日本という国はあなたにどのように貢献しましたか？

最初に日本に来たのは、両親と親戚と一緒に1996年から2003年のことでした。その時、私は滋賀県守山市の教会で夕方行われていたペルー人教会に集っていました。

現在働いている長崎県長与町にはどのようにして導かれましたか？

ある日、妻の母から宣教の雑誌が送られてきました。そこには「宣教師になれ！」というタイトル記事がありました。大家族で日本で働きをした宣教師のことが記されていました。日本で宣教師の必要な場所はどこかと尋ねたところ、同じ日に二つの返信がありました。そしてその二つは同じ場所を指し示していました。42,000人の人口がありながらプロテスタント教会が一つも無い長崎県の長与町です。

長与町ではどのように集まりを始めたのですか？

私たちは神様の導きを祈りました。公園やモールやカフェなどの人々が集まる場所へ出て行き、できるだけ多くの人と会ってコネを作りました。公園でピクニックをしたり家に食事に招いたりしました。少し

経って礼拝や神様について会話をする集会を始めました。ほどなくして家で集まるには狭すぎるほどになり、もっと大きな場所を祈り捜し、新会堂が与えられました。

新しいリバイバルが日本に近づいていると思いますか？

アルゼンチンの有名な説教者がこう言いました。「私たちの国のある教会はリバイバルが来た時に気づきませんでした。その結果リバイバルの時にほとんど変化がありませんでした。」眠っていたり、無関心であったり、なまぬるかったりではいけないのです。私は、神様がなさる大きくて素晴らしいことを見逃さないようにしたいです。私も、より多くの人々が海外から日本に来て働くようにとの召しを受けていると聞いています。変化と挑戦に備えていくことにより、日本が宣教師の派遣国となっていくと信じます。

日本の教会は、伝道にむずかしさを覚えています。何か示唆はありますか？

一般的に「日本はむずかしい畑で、結果もほとんどない」と言われます。しかし、私たちは自分たちのことばを変える決心をしました。「死と生は舌に支配される。どちらかを愛して、人はその実を食べる。」(箴言18:21)とありますから、私たちは否定的なことば(死)の代わりに「いのち」を語ることにしました。イエス様はおっしゃいました。「目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。」イエス様はいつも「出て行く」ように召しておられます。

編集後記

- バン格拉デシュに簡素な礼拝堂を建設するプロジェクトにご献金いただければ幸いです。振替用紙に「バン格拉デシュのため」とお書き添えください。
- アジア・アウトリーチ・ジャパンでは、毎月特定のアジアの国のための祈禱課題をメールで配信しています。ご希望の方

- は、aojapan@zeus.eonet.ne.jp にお申し込みください。同様に、このアジア・レポートPDF版をご希望の方、アジア・レポート・ニュースレター(紙版)増部をご希望の方もメールにてお知らせください。
- 新ウェブサイト <https://aojapan.org>

迫害されている
クリスチャンの
ために祈ろう!
hakugai.org